

医薬品安全管理研修会 2018年

(日本語社会人教育プログラム)

— 医薬品事故防止のための様々な取り組みと新規薬剤の適正使用 —

事前配布資料

期 間: 2018年12月1日(土)~2日(日)午前

会 場:

東京大学法文1号館25番講堂
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1

テキストは電子版にて当日にお渡しします。

主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

受付開始 12月1日午前9時
12月2日午前9時30分

テキストは電子ファイルのホームページをお知らせします。印字版テキストはございません。
インターネットに接続している携帯端末(スマートフォンやiPhoneなど)をご持参ください。
電子デバイスの貸し出しは行いません。

領収書は12月1日の朝に受付でお渡しします。

受講証は2回分で、12月2日の最終講義の後に受付でお渡しします。

多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

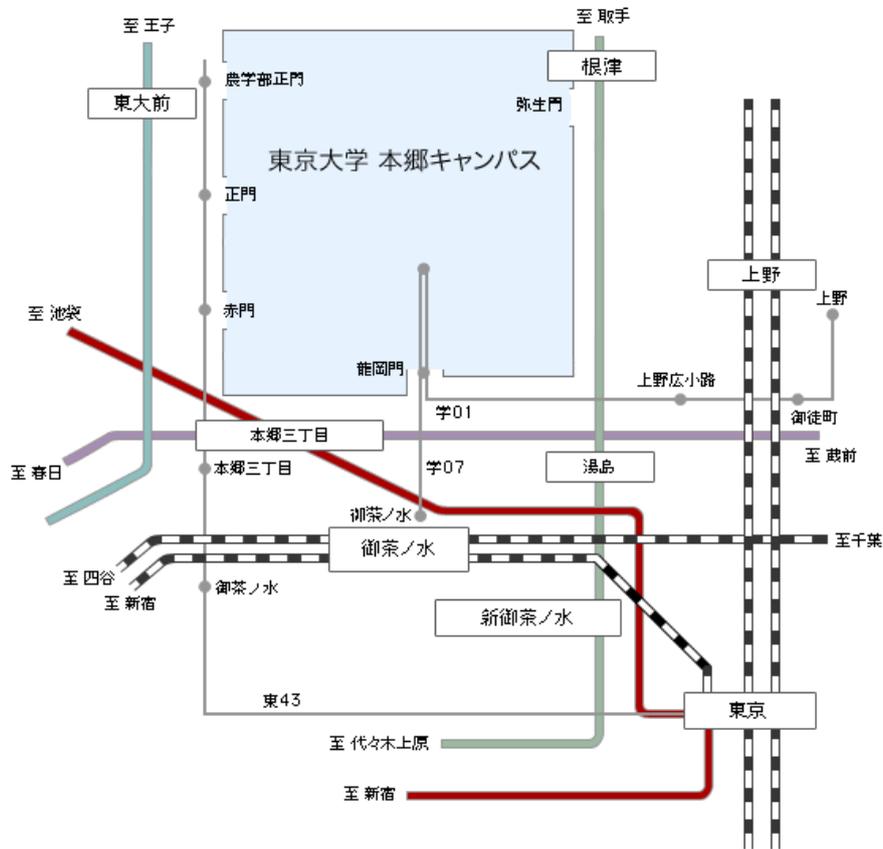
受講対象者: 学会員、医薬品安全管理者、薬剤師、医師、助産師、看護師、医薬品製造・輸入・販売業者、その他

厚生労働省2007年3月26日省令により、薬局開設者はその従業員に対し、医薬品安全管理上の指定課題に関する年2回程度の教育研修会の開催を義務されました。本セミナーは、各病院薬剤部や薬局開設者による医薬品安全管理研修会に対し、基礎となる参考資料を提供するものです。参加者には2回分の受講証をお渡しします。

本プログラムは、学会認定「高度医薬品安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

<http://www.jpscs.org/CDRS.pdf>

交通案内

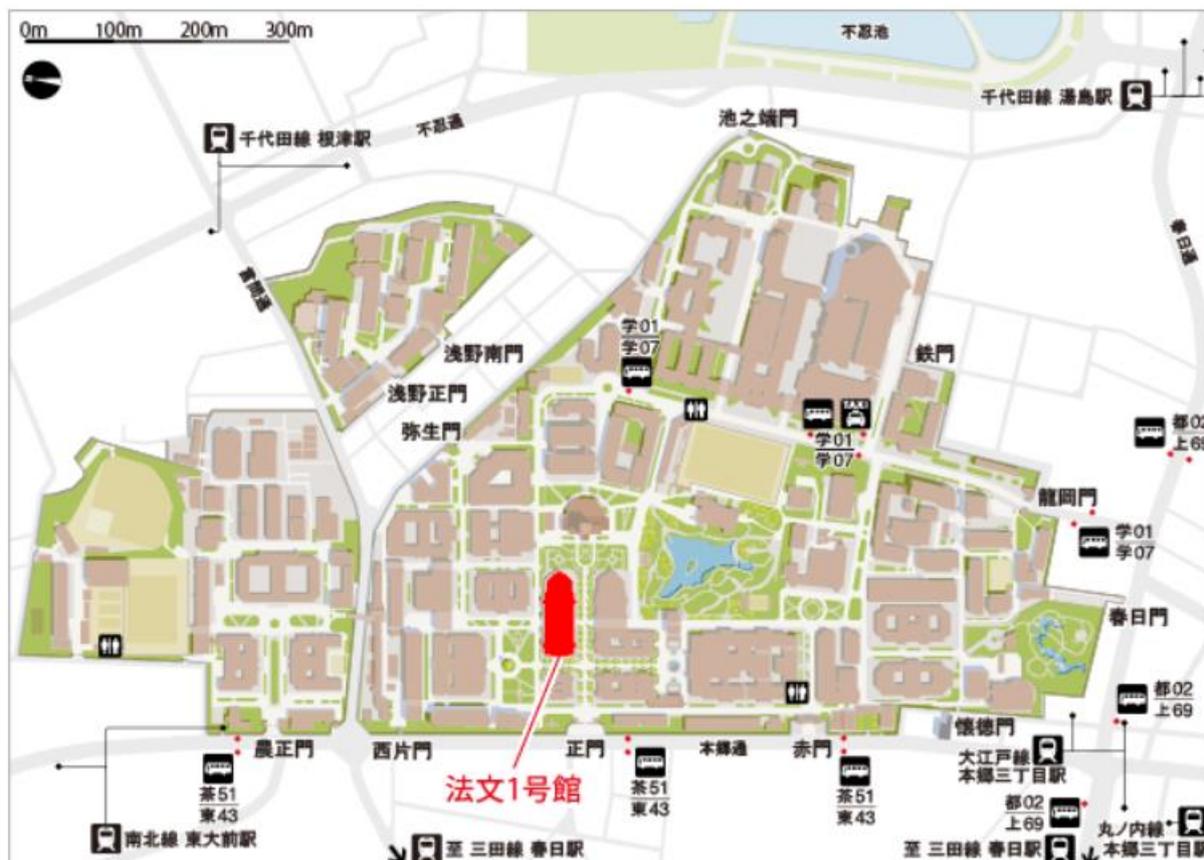


最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2111(代表)



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂は工事のためご利用できません。

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

第1日目 2018年12月1日(土)

入場開始: 午前9時

午前10時～10時50分 医薬品安全に向けて薬剤師に必要なコミュニケーションスキル
井手口 直子 帝京平成大学薬学部 教授

午前10時50分～11時 小休憩

午前11時～11時50分 院内製剤の現状と問題点
百 賢二 (帝京平成大学薬学部 准教授 前筑波大学病院薬剤部)

午前11時50分～午後1時 昼休憩

午後1時～1時50分 特別セッション1(新規薬剤) —関節リウマチの最新の薬物療法と適正使用—
バリシチニブ、サリルマブなどの新薬を含めて
南木 敏宏 (東邦大学大森病院リュウマチ膠原病センター・センター長、教授)

午後1時50分～2時 小休憩

午後2時～2時50分 特別セッション2(新規薬剤) —抗てんかん薬の最新の薬物療法と適正使用—
ペランパネル、ビガバトリン、ラコサミドなどの新薬を含めて
永山 正雄 (国際医療福祉大学熱海病院副院長、神経内科教授)

午後2時50分～3時 小休憩

午後3時～3時50分 医薬品安全-パッシブからアクティブへ-
夏目 義明 (横浜労災病院薬剤部 薬剤部長)

1日目 閉会

第2日目 2018年12月2日(日)午前

入場開始: 午前9時30分

午前10時～午前10時50分 高齢者の薬物療法の安全性の確保-ポリファーマシー対策の現状と問題点-
大島 繁 (城西大学薬学部准教授)

午前10時50分～11時 小休憩

午前11時～11時50分 医薬品安全に指向した統計データの解釈と活用
濃沼 政美 (帝京平成大学薬学部 教授)

2日目 全体閉会